

【プログラム9：あなたならどうする？】

☆ねらい：子どもの成長を考えるとともに、親としての自覚や子育てに対しての意欲を高める。

《プログラムの概要》

| キーワードの例 | 親のかかわり方 |
|---------|--|
| 時 間 | 25分 |
| 人 数 | 何人でもできる。 |
| 活動形態 | グループ（1グループの人数は4～5人） |
| 準備物 | 話題シート |
| 主な活動 | <ul style="list-style-type: none"> ①「こんなときどうする？」（話題シート）を通して、子どもの気持ちや自分の行動を考える。 ②日常生活の中での同じような経験について振り返る。 |
| 気を付けること | <ul style="list-style-type: none"> ○「正解」を出すのではなく、多様な考えを聴くことを通して、これからの子育てに役立てていこうとする気持ちを大切にするように声をかける。 ○話題シートの事例は、子どもの発達段階に応じた例にする。 ○子どもが異年齢の保護者の集まりの時は、考えやすい話題例を示す。 |
| まとめについて | <ul style="list-style-type: none"> ○展開例に示しているポイントは、本プログラムにおける例である。進行役が自身の体験や経験から感じていることを付け加えたり、例示してあるポイントから取捨選択したりして参加者に伝えるようにする。 ○例示のポイントを押し付けないように心がける。 ○参加者に分かりやすい言葉で伝えるように心がける。 |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none"> ○子どもへの接し方で、今思うと「失敗した」と思うこと等を出し合ってもよい。 ○まとめでは、先輩保護者の体験談でまとめてもよい。体験談が成功談だと、自慢話のように感じられ、子育ての意欲の向上には結びつかないので気を付ける。そのような場合は、進行役が最後のフォローをする。 |

【プログラム9：あなたならどうする？】

〔25分〕

| 時間 | 形態 | 講座の流れ |
|-----|------------|---|
| 3分 | 全体 | 1. 子どもが成長したと思うことを出し合う。【3分】 [キーワード] ○親のかかわり方 |
| 20分 | 個人 グループ | 2. 「こんなときどうする？」(話題シート)をもとに考える。【15分】 (1) 場面設定状況を確認する。(2分) (2) グループで話し合う。(13分) ①自分がこの子どもの親だったらどうするか考える。 ②自分がこの場にいた参加者だったらどうするか考える。 ※①と②を時間を区切って話し合うやり方でもよいし、グループで話しやすい方を選んで考えを出し合うやり方でもよい。 |
| 2分 | 全体 | 3. グループで話題になったことや考えたこと等を紹介する。【5分】 4. まとめを話す。【2分】 [ポイント] ・保護者の都合だけでなく、子どもの思いに寄り添って考えたり、場に適した状況を考えたりすることも大事である。 ・保護者同士が、子育ての悩みを話したり、自分の経験を話したりできるつながりを作っていくことが大事である。 |

〔 活動 〕

〔 基本的な説明・問いかけ例 〕

〔 備考 〕

1. ねらいの
確認

○今日は、「親のかかわり方」をキーワードに講座を進めていきたいと思います。

・キーワードを提示する。

2. 「こんな
ときどう
する？」
をもとに
考える

○今から、話題を読みますので、「自分だったらどう思うと思うか」を考えてください。

次のような例があります。先日、・・・・・・・・

(話題を読む。)

○ここで場面設定状況を皆さんで確認したいと思います。

- ・場所は、演奏会 ・自分は1人で参観
- ・お世話になった方の演奏会
- ・会場には多くの参観者
- ・1歳半ぐらいの子ども連れの夫婦がいる。
- ・時間の経過とともに子どもが飽きてきた。
- ・気になって、演奏に聴き入ることができない。

○これから、2つのことについて考えてほしいと思います。1つめは、自分がこの子どもの親だったらどう思うと思うかについてです。

2つめは、自分がこの演奏会を参観している人だったらどう思うと思うかについてです。

自分だったらこうするだろうなと思うことを、グループの皆さんに紹介してください。そのとき、なぜそう思うと思うかという理由も紹介してください。また、自分にも同じような経験がある場合はそのことを紹介してください。

・話題は、進行役が読んだだけでは分かりづらいこともあるので、話題シートを参加者に配付してもよい。

・話題シートを参加者に配付し、考えをメモした後、グループで出し合うという流れでもよい。書く時間の確保が必要になる。

3. 感想等の紹介

○まだ話している途中だと思いますが、グループで話題になったことや考えたこと等を紹介してください。

(時間があればグループの意見を多く紹介する。)

○どうでしたか。いろいろな意見を聞いて参考になりましたか。

・例題の中で、「誰かが悪い」(例：子ども連れの夫婦が悪い等)にならないように気を付ける。

4. まとめ

○保護者の都合だけでなく、子どもの思いに寄り添って考えたり、場に適した状況を考えたりすることも大事なことです。

保護者同士が、子育ての悩みを話したり、自分の経験を話したりできるつながりを作っていくことが大事です。

・進行役の子育て経験で、例題と同じようなことや親のつながりがあったってよかったという体験などを話してもよい。

あなたならどうする？

話題シート

☆「こんなときどうする？」

※次のような例があります。

先日、お世話になった方が出演する演奏会に行きました。そこには多くの観客が、皆、演奏に聴き入っていました。観客席には、1歳半くらいの子どもの連れだ夫婦もいました。初めは静かに母親の膝の上に座っていた子どもも、時間の経過とともに、声を出したり立ち歩いたりするようになりました。母親は、遠くまで行かないように手を引いていました。また、子どもが声を出すときには口を押さえながら、大声が響かないように気を使っているようにも見えました。しかし、子どもは遊んでもらっていると思っているのか、にこやかに喜んでおり、だんだんにぎやかさも増してきていました。隣に座っていた子どもの父親は、ずっと正面を向いていました。

せっかくの演奏会なのに、子どもの声が気になって、落ち着いて聴くことができませんでした。その場で、声をかけようかとも思いましたが、離席してまで言いに行くことにも抵抗があり・・・そのままでした。



◆あなたなら、このようなときどうしますか？

①あなたが、この子どもの親だったらどうしますか？

②あなたが、この場にいた観客だったらどうしますか？

